

発行所

ふなごやすひこ幸せの国づくり
〒100-8962 東京都千代田区
永田町2-1-1 参議院議員会館302
Tel:03-6550-0302
Fax:03-6551-0302
✉:yasuhiko_funago@sangiin.go.jp

FunaGO! 新聞

2020年(令和2)3月1日
機関誌 月刊 第1号



船後議員 通常国会へ

初の「150日」に 意気軒昂

第201回通常国会が1月20日、開会した。来年度予算案や、政府から提案された約50の法案について審議される。船後議員にとっては初めての通常国会。6月17日までの150日間という長期の日程となるが、船後議員は「インクルーシブ教育実現に取り組みたい」と意気込んでいる。

召集日の1月20日、船後議員は木村英子議員とともに、本会議開会に先立って開かれた党の「議員総会」に参加した。写真。総会の

場で目の前に立つのは、山本太郎代表だ。「真面目にお仕事をされるお二人だからこそ、体調優先でしっかりと休んでほしい」。山

「演説内容の本気度」を評定したいと語った。参議院での重議3月から本格化

通常国会で大きな焦点となるのは来年度予

算案だが、当面は、衆議院での審議が続く。このため、参議院での審議が本格化するの、3月以降になる見通しだ。

現在、船後議員が所属しているのは「文教(ぶんきょう)科学委員会」。文部科学省が所管している教育や科学技術、スポーツに関する政策について議論する。今国会では、文

部科学省に関連する予算案や、提案されている法案2件についての審議が中心になる見込みだ。

船後議員は委員会で質問する他、「インクルーシブ教育」や東京五輪・パラリンピックの課題などについても取り上げていく方針だという。

スローガンは「チーム力で勝つ！」

船後議員は、2020年の事務所スローガンを「チーム力で勝つ！」と決めた。議員を中心として支援者の皆様とともに取り組んでいきたいという意思を明確に示そうとした形だ。

通常国会開会に当たって、公表した。スローガンについて「これが意味する所は、私だけではなく事務所メンバー全員が、やりがいのある仕事に取り組み、相乗効果をもたらす勝利を得られるということ。相乗効果とは、ある要素が他の要素と合わせる事によつ

て単体で得られる以上の結果を出すことです」と解説している。

現在、議員事務所には、政策秘書、公設第1秘書、同第2秘書の

3人が常駐し、政策立案や渉外、情報収集などを担当して、議員活動を支える。また、看護師でもある佐塚みさ子さんをはじめ、選りすぐりの介助スタッフによって、日常生活のサポートも万々矣だ。

現在、会合や陳情、困りごとを抱えている人の聞き取りなどでは毎日外出している日々だが、意欲に満ちた表情を見せる。

議員は、事務所のビジョン(構想)として、

障害の有無を問わず誰もが幸せになれる社会を創る

を掲げている。これは、障害があってもなくても、その人がその人らしく生き、やりがいや生きがいを感じながら暮らすことができる社会を目指す、という意味だ。

このビジョンのもと、「チーム力」を生かし、生きづらさを抱えている人たちを支えられる社会づくりに取り組む方針だ。



船後議員(左から3人目)を激励する山本代表(右端)

その理由は重度障害者が社会生活を送るために不可欠な重度訪問介護などの具体的な改正内容に、踏み込んでいなかったためだ。「1億総活躍社会の実現をうたっておられる総理は、もししたら、『重度訪問介護』の内容を知っておられないかもしれないとの印象を受けた」と皮肉り、法案や予算案を通じて

「チーム力」を發揮して通常国会に挑む



「チーム力」を發揮して通常国会に挑む

船後靖彦、沖縄へ飛ぶ!

「定員内不合格」解消求め

県教育長に要望書提出

沖縄で暮らす知的障害のある少年と両親の思いに
 応えるため、船後靖彦議員は2月10、11日、沖縄
 県を訪問した。平昭昭教育長宛てで「学ぶ意欲の
 ある子どもが分け隔てられることなく学ぶ権利を保
 障してほしい」との要望書を提出。その後、少年や
 ご両親、支援者との交流会にも出席し、問題解決に
 向けて決意を固めた。

きっかけは、山本代
 表が昨年11月に沖縄県
 名護市で行った街頭演
 説だった。参加者の一
 人、重度知的障害のあ
 る仲村伊織さん(17)
 と暮らす母美和さんが



沖縄県教育長宛ての要望書を提出する船後議員

「障害のある子や、試
 験で点数が取れない子
 は高校から排除されて
 いる。このような子た
 ちこそ教育が必要では
 ないでしょうか」との
 手紙を読み上げた。

★定員内不合格 募集定員内
 にも関わらず入学を認めない
 こと。国によると32道府県
 の教育委員会が「出る可能性
 がある」と回答。一方、東京
 都や大阪府は出しておらず地
 域格差も大きい。

代表を通じて、この
 手紙を受け取った船後
 議員はインクルーシブ
 教育の実現を重要政策
 と掲げていることから、
 取り組むことを決意。
 同月、沖縄から上京し
 た両親に面会したたう
 えで、11月の文教科学
 委員会でも取り上げた。
 その後現地ではご両
 親らが伊織さんの受験
 に向け「定員内不合格」
 を出さないよう要望活
 動を行っていた。秘書
 を通じてそのことを知っ
 た船後議員は同僚であ
 る木村英子議員の助言
 もあり、「今度は自分
 が現地に行つて応援し
 たい」と決意した。

船後議員はまず、那
 覇市にある沖縄県教育
 庁で、教育委員会担当
 者と面談した。「障害
 の有無にかかわらず、
 定員内の高校入学確保
 をしてほしい」と要望
 し、「伊織さんのよう
 に最も教育を必要とす
 る子を排除するのは、
 教育機関としての敗北
 ではないか」と厳しく
 指摘した。
 面談後には伊織さん
 やご両親を含めた数十
 人の交流会にも参加。
 「伊織さんを支えてこ
 られた皆様の声をお聞
 きし、受け止め、とも
 に考えていきたい」と
 あいさつした。
 船後議員との面談時
 は「お言葉をしっかり
 受け止めたい」としな
 がら、前向きな回答は
 控えていた県教委側。
 しかし現地の方々の努
 力もあり、少しずつ前
 向きな動きが出つつあ
 る。訪問後に行われた
 ご両親と県教委の面談
 では「合格の可能性は
 ある」との回答を得た
 という。
 船後議員は今後も、
 現地の方々と連携しな
 がら状況を注視する方
 針だ。

今月の1枚

代表、木村議員と対談



スタッフから



政策秘書 岡田哲夫

船後議員はギターリス
 ト、僕も以前に音楽に
 携わる仕事をしていた
 ので、馬が合います。
 議員はどこかに出かけ
 たら必ずお土産を買っ
 てくる気遣いの人。優
 しい心で「誰もが幸せ
 になれる社会を創る」
 というスローガンを実
 践しています。

船後今月の一言



どの人も永々に春を感じれる

国にぞらんと祈う元旦

船後のひとこと 「祈(うけ)う」の本来
 の意味の一つに「事柄の実現を神に祈る。」
 というものがあります。私には神がいるのか
 どうかはわかりませんが、「どの人もとわに
 春を感じられる国にする」との思いから詠っ
 てみました。元旦での一首です。こんな非科
 学的かつアグレッシブな短歌もお許し下さい。

船後靖彦後援会

「チームふなGO!」

会員募集中!!

船後靖彦後援会「チームふなごGO!」では、
 ご入会者に月刊の会報誌などの特典をご用意
 しております。ぜひご入会をよろしくお願
 い致します。会費は年会費5000円です。

TEL:03(6550)0302
 mail:yasuhiko_funago@sangiin.go.jp